

南阿蘇村議会だより

# すいげん

みなみあその今と未来を発信

令和4年  
5月1日発行

Vol.57

## 夢と希望の 鯉のぼり

### 3月定例会

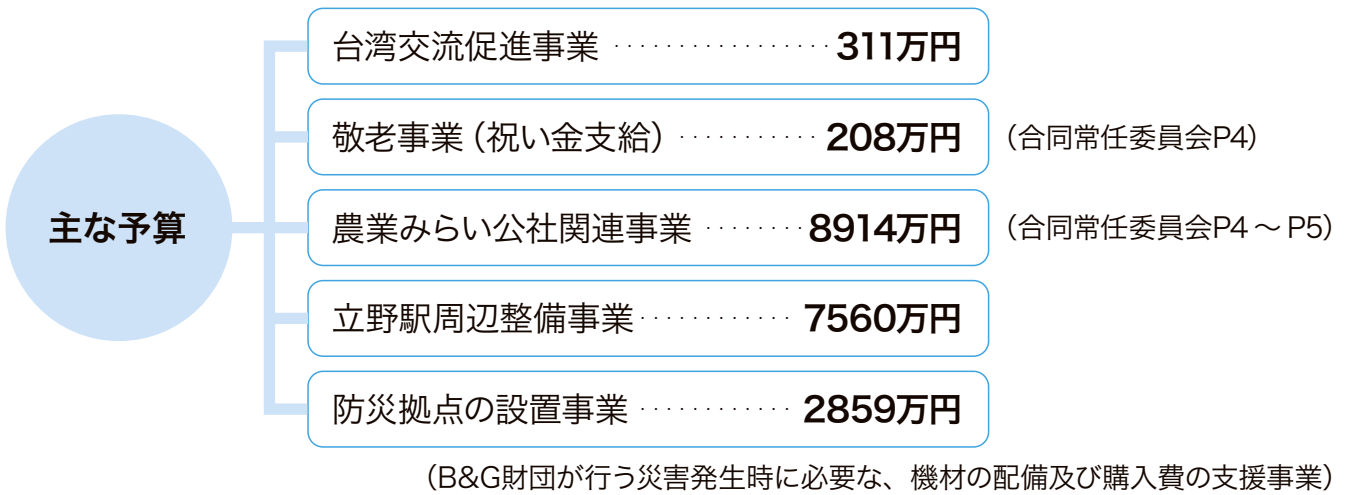
- ② 「行財政改革の新たな取り組み」 第1回定例会
- ④ 「付託された議案を審議」 合同常任委員会
- ⑥ 「ずばり村政を問う」 一般質問
- ⑪ 議会活動
- ⑫ 人事異動挨拶

# 熊本地震から増加し続けた当初予算

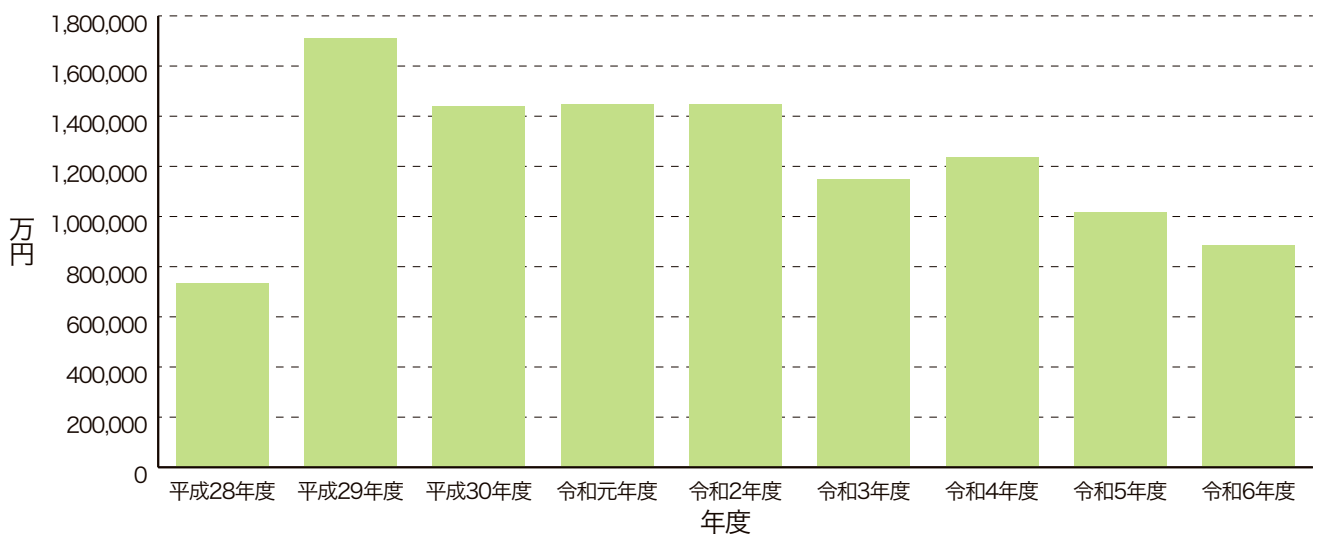
## 一般会計当初予算 123億8130万円

### 【令和4年 第1回定例会】

令和4年3月10日から3月18日まで8日間の日程で開催され、令和4年度一般会計当初予算など42議案（予算13、条例15、人事1、その他13）、議会提出1議案を原案通り可決した。人事では、教育委員会委員に後藤隆興氏の任命案に同意した。また、発議「ロシアによるウクライナ侵攻に対し強く抗議する決議について」を原案通り可決した。一般質問は5名が登壇し（P6～P10）行政の諸問題について質問した。



### 【熊本地震からの推移と今後の計画】



平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
73億4,003万円	170億9,775万円	144億273万円	144億8,801万円	144億7,686万円	114億8,019万円
令和4年度	令和5年度	令和6年度			
123億8,129万円	101億7,865万円	88億5,027万円			

※平成29年度、令和3年度は、村長選挙に伴い骨格予算である。  
 ※令和5、6年度は、中期財政計画による試算値である。



# 行財政改革に新たな取り組み！

## 南阿蘇鉄道関連事業 総額24億9400万円

令和5年、夏頃の全線開通と同時にJR豊肥本線乗入れの実現に向け、準備を進めている。

※一般質問（河内議員P7・今村竜喜議員P9）



令和4年3月19日トロッコ列車出発式の様子

## ふるさと納税関連事業

令和4年度、ふるさと納税目標額4億円。企業版ふるさと納税は、企業に魅力あるPRを行う。



※ふるさと納税返礼品例



新たに農業に取り組む地域おこし協力隊

## 南阿蘇村農業みらい公社

### 職員の紹介（左から）

- ・ 小 屋 迫 瑛（熊本市出身）
- ・ 宮 脇 悠（熊本市出身）
- ・ 長 澤 静香（合志市出身）
- ・ 鈴 嶋 千 芳 子（八代市氷川町出身）

## ロシアによるウクライナ侵攻に対し強く抗議する決議

賛成討論 辰巳 和美 議員

ロシアによるウクライナへの武力行使の即時停止、ウクライナ領土からの即時撤退。一日でも早く平和的解決を望む。本議会は、ウクライナ人道支援とし、執行部にウクライナ難民の受け入れ体制・整備を要請し、賛成討論とする。

### 【令和4年 第1回臨時会】

議 案	審議内容	議決日	審査結果
議案第1号	令和3年度南阿蘇村一般会計補正予算（第9号）の議決について	1月21日	原案可決

定例会8日目（3月17日）総務、文教厚生、経済建設の合同常任委員会を開催。第1回定例会に上程された議案について執行部に詳細な説明を求めた。

## 敬老金等の支給に関する条例の一部を改正する条例

### 敬老金等の減額理由は

#### 〈辰巳委員〉

減額理由の説明を。

#### 〈健康推進課長〉

高齢者の増加に伴い、役場の経費削減も含め、近隣町村の対象者への金額も考え、減額の提案をした。

100歳 10万円 → 5万円

88歳 3万円 → 1万円

#### 〈山室委員長〉

削減金額の見込みは。

#### 〈健康推進課長〉

令和4年度、88歳で119名の方が対象となり改正すれば230万円の減額になる。100歳で12名の方が対象となり、60万円の減額になる。

#### 〈山室委員長〉

政府でも年金受給者に手当をしようという動きもある中、逆行ではないかとの意見を伝えておく。

## 令和4年度一般会計予算

### 災害見舞金の状況説明を

#### 〈河内委員〉

全国自治協会の災害見舞金制度の中で、甚大な被害を受けている益城町・阿蘇市は、見舞金を減額されるという不公平な報道が出ていた。南阿蘇村の状況説明を。

#### 〈総務課長〉

早い段階で損害額が確定した10施設、1億8500万円は元の規定率15%で2800万円概に支払い済み。被害額の認定が遅れた2施設、1億700万円は、15%ではなく4.81%でしか払えないのが現状。自治協会に村長名で給付率の再検討の要望書を出している。

### そば作付振興補助金の減額理由を

#### 〈笠野委員〉

そば作付振興補助金が、昨年度から半分の金額になっているが、理由の説明を。

#### 〈農政課長〉

そばの基金が非常に厳しい状況にあり、令和3年度は1袋当たり3000円の補助をしていたが、来年度から1袋当たり1500円と減額をする状況である。今後は、国の補助事業等を活用して、そばの振興を図っていき、できるだけ高く売れるよう整備づくりを考える。

### みらい公社の人材確保の状況を

#### 〈坂田委員〉

今年は定員6名に対して4名と聞いているが、今後の人材確保の予定を。

#### 〈農政課長補佐〉

現状4名であるが、引き続き募集をしており優秀な人材がいれば採用する方向である。来年、卒業する学生の確保に向け情報発信をしていく。

### ワインプロジェクト事業進捗は

#### 〈笠野委員〉

ワインのブドウ品種、またワインの販売時期及び収支の説明を。

#### 〈農政課長補佐〉

ブドウは昨年10月に1400kgを収穫している。品種は、カベルネ・ソービニオンとヤマ・ソービニオンの2種。今年、約1000本を予定しており秋から1本3500円で販売予定。ふるさと納税返礼品、また村内での限定販売など付加価値をつけていく。



ワイン用ブドウの収穫



## その他

### 〈橋本委員〉

教職員住宅管理条例の件（詳細はP8）

### 〈村長〉

一般質問（P8）がされるという事で、教育委員会の決裁文書を確認。当時は地震で大変な時期だったので手続きのミスがあったが、条例違反ではない。職員のミスであり大変申し訳ない。今後、条例に従って進める。

### 〈河内委員〉

令和4年3月16日発生した地震で福島県南相馬市でも被害が出ている。熊本地震では、多大な支援を頂いている。被災状況を確認し、物資などの支援が必要であれば是非行ってほしい。

### 〈今村輝宏委員〉

不適正事務の調査結果対応の件

### 〈今村竜喜委員〉

タブレットを更に有効活用 of 件

## 補足説明

### 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

#### 〈税務課長〉

今回の一部改正の目的は、中間所得層の負担をかけずに保険料収入を確保するため、高所得者の負担能力に応じた負担限度額を見直すものである。この改正による国保税額は、確定申告の結果にもよるが116万円程度の増額となる見込みである。

## 農業公社予算内容

#### 〈農政課長補佐〉

農業公社設立に伴い、両併小学校改修工事予算として4800万円を計上。主に学校寄宿舎を活用するには消防法上、壁を防火仕様に、また浴室及びシャワー室を設置すると合併浄化槽が必要になるため補助金等も活用して負担軽減を検討している。

その他、令和4年度は、国の有機農業産地づくり交付金、県の有機農業モデル事業、また国の定額の事業を活用し土地利用型の作物、エゴマ・ゴマ・しょうが等を含めた栽培の実証、加工及びそばのブランド化を実施していく。

## 南阿蘇鉄道 JR 乗り入れ事業負担金

#### 〈産業観光課長〉

令和4年度、JR直通乗り入れを実施するための工事に着手。概算で3億5170万円。当初は、国の補助が1/3、残りの2/3を沿線自治体の高森町と南阿蘇村で支出予定であった。今回、県の負担が入ることにより国が1/3、県が1/3、高森町と南阿蘇村が1/3の負担割合となり、村の負担額の8100万円を計上している。

次に、南阿蘇鉄道経営対策補助金 9848万円を計上。安全輸送設備等の経費。南阿蘇鉄道の安全な輸送を確保するため、マクラギ交換、無線設備交換、車両更新等を予定している。

## 財産の無償貸付

#### 〈政策企画課長〉

遊休施設利活用の方向性や課題性等を、公共施設利活用推進委員会で検討を進めてきた。地域住民と意見交換会を実施し、民間への貸付や地元への開放など様々な意見を頂いた。その意見を踏まえ旧中松小学校を新たに企業と地域住民が交流を深めていくための拠点として利活用できるよう、地域住民の交流スペース、サテライトオフィス等を必ず設けた上で、事業実施するという事で公募。その後、事業選定委員会を開催し、リングロー株式会社を選定した。貸付期間は、令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間。光熱費など維持管理費用はリングロー株式会社の負担。貸付対象外の体育館・プール等は村が管理。無償貸付の理由は、利活用企業側の中長期的な負担軽減、また村のランニングコストの軽減である。合わせて空き教室などをリングロー株式会社より他社企業に利用（サテライトオフィス等）して頂き、地域貢献や住民との交流事業を実施することで、村の活性化に期待する。

# ここが聞きたい ずばり村政を問う!

一般質問は、会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で構成し、掲載しています。詳細は、会議録の閲覧ができます。



一般質問

ここが聞きたい ずばり村政を問う!

## 笠野 眞喜議員

※写真撮影の為マスクを外しています。

### 村づくりをどう進めるか

#### 笠野議員

- ①「誰もが住みたい、住み続けたい南阿蘇村」を実現するため、安定的な財政基盤と効率的な組織体制の構築を図る必要があると令和3年度から令和7年度までの5か年計画を策定されている。1月26日中学2年生子ども議会で、これからも南阿蘇村に住みたいか、のアンケートに「どちらかと言えば住みたくない」「住みたくない」と34%の生徒が回答している。その理由は、遊び場がない・買い物がかた、との回答が多かった。未来を担う子どもあってこそこの政策、若い世代が村で子どもを産み育てたいと思う村にしなければならないのでは。
- ②「村政の基本は住民との対話」と言われているが、旧両併小学校に設立する農業みらい公社の件で、地元区民との対話が行われずチラシ配布で終わっている。南阿蘇村農業の方向性を変える施設であり、地元あっての公社ではないか、新型コロナで地区集会・出張座談会が出来てないが、方法を変えれば出来るのではないか。
- ③「環境」「活力」「暮らし」3本の柱でどの様な成果があったのか。災害の教訓を生かし「災害に強い安心安全な村づくりを進める」と言われたが、今、現在の村民の暮らしはどうか、活力なくして村の将来は語られません。環境を整え、それを土台として活力につなげる、恵まれた自然環境を最大限に活かして振興を図り、元気な・魅力ある・選ばれる「村」に現在はなっているのか。

### 3Kに基づき取り組んで行く

#### 村 長

- ①令和3年度も3Kに基づき様々な取り組みを実施してきた。単年度では成果が見えづらいものが多い。「環境」「活力」「暮らし」それぞれにおいて少しずつ進んでいる。新型コロナ感染症の影響による新しい生活様式を取り入れた上で、取り組みを実施していく。
- ②出張座談会を計画しましたが、新型コロナ感染症拡大のため実施できず、コロナ感染状況次第で実施を考えている。  
現在も住民との対話が一番と思っており、2期目も「出張村長室」を継続し住民との対話を行っている。成果として貴重な意見を頂き、村政運営の参考になり、今後も住民の声を村政へ反映したいと考える。
- ③3Kは、村の将来像であり「誰もが住みたい・住み続けたい南阿蘇村」を築いていくための取り組みを具体化する政策の柱であり、「村の土台は環境であり、恵まれた環境は産業を後押しし、活力を生み出す。生まれた活力は村人の暮らしを豊かにする」という理念の元、取り組みを実施する。



役場1階正面玄関から入って右手「出張村長室」

## 河内 克也議員



※写真撮影の為マスクを外しています。

### 南鉄全線再開に向けた取り組みは

#### 河内議員

国、熊本県の特別な支援、沿線自治体、関係機関の熱意、頑張りによって南鉄は完全復旧し、JR豊肥線直接乗り入れも実現する。創造的復興のシンボルとなる全線運行再開が来年夏に近づいてきた。「復旧する南鉄の成功と発展、鉄道を利用した観光客増、交流人口の増加こそが地域振興、南阿蘇の発展につながる。」このことは村の大事な政策だ。今、全村挙げて機運を高め、スクラム力でこの政策に取り組む時期だと考え、政策提言型の質問をする。

- ① 村民に、マイルール意識をもってもらいたいため、広報紙に南鉄特集記事の掲載を提案。国鉄高森線からの歴史、復旧までの経緯、運営状況、現状と課題等を整理し、みんなで考える場をつくっていただきたい。
- ② 村民利用が大事。通勤通学者利用促進・確保のため来年4月～開通まで各駅停車代行バス運行を提案。
- ③ 利用客、交流人口増加のため、観光・福祉列車としての運行に力を入れていただきたい。バリアフリー化が進んだとはいえ、障がいをお持ちの方は列車に乗る機会が少ない。個人・福祉施設の旅行、研修でも、南鉄利用をと呼びかける体制づくりを希望する。
- ④ 県はくまモンの魅力や世界観を伝える「くまモンランド化構想」を始動させる。構想は空や陸、海の玄関口にくまモンに会える場所を確保予定であり、村の玄関口「立野駅」に開設出来たらと考える。4つの提言内容と今後、関係機関と連携した村の取組策を執行部に問う。

### 各利用促進策を進める

#### 産業観光課長

南鉄は住民生活に必要な不可欠な地域公共交通の基軸であり、南阿蘇地域の基幹産業である観光業を支える県内屈指の観光資源であり、鉄道事業の上下分離、豊肥線乗入れ、利用促進策等各事業を進めている。

- ① 広報特集は、全線開通前と開通時に計画している。
- ② 代行バスは南郷ライナーとゆるっとバスが運行され

ており、今後は利便性を考慮し内容を検討していく。

- ③ 観光列車は、トロッコ・イベント列車を運行中で、ワンピースコラボ列車走行も計画。福祉列車は車両や駅で障がい者・高齢者が利用しやすい車いすスペース設置や段差解消等行い環境づくりに取り組む。
- ④ くまモンランド構想は今後県の動向に注視し、事業の中に立野駅・高森駅等を利用し、くまモンに会える場所を提供できるよう提案していく。

### 県道28号熊本高森線全線改良終了は

#### 河内議員

熊本高森線は熊本市から河陰、久石、両併地区を横断し、国が高森町までの総延長約60kmを主要地方道に指定している。俵山バイパスも完成し、観光道路、村民の大事な生活路線である。今日まで県を中心に村の支援、村民のご協力で改良事業は進んできたが工期が長くなっており、村民から片側通行、雨天時の未舗装道の走行、古木倒木の心配があり、早期全面拡幅工事終了を望む声を多く聞く。

- ① 村内区間の改良進捗状況と課題
- ② 改良終了見込み等、今後の事業展望を問う。

### 令和8年度中の全線完成を目指す

#### 建設課長

- ① 現在、久石工区1.5kmが工事中、未改良となっている。進捗が図れないのは、用地交渉が難航している箇所が数件残っていること。地震の復旧・復興を優先することが必要で、予算の確保が十分でなかったことが要因である。
- ② 事業展望は、県で検討され用地難航箇所の課題を解決し、令和8年度中の全線完成を目指すとの回答を得ている。村も早期全線開通を目指し、協力、支援を引き続き行っていくとともに、要望活動を強化していく。



工事中の県道28号熊本高森線





## 橋本 功議員

※写真撮影の為マスクを外しています。

### 法令遵守と公正な村政運営なのか

#### 橋本議員

村は、議会の議決を得て教職員住宅管理の条例を定めている。中学校敷地内にある教職員住宅は、震災以降において教職員以外の入居者に対し条例があるにもかかわらず家賃請求事務を省略し、無償提供してある。どのような理由をもって、無償で提供していること自体が公正さを欠いていると思う。法令遵守の観点から見解を問う。

### 条例違反ではない

#### 教育委員会事務局長

熊本地震災害復興に来て頂いた職員に、教職員住宅管理条例第24条「この条例の施行に関し必要な事項は、村長が別に定める」の規定に基づき村長の決裁を得て、平成28年10月4日付けで家賃免除での入居許可をしている。村長から招請された副村長に対しても同様に提供している。

#### 総務課長

本村の様々な課題を解決し復旧復興を成し遂げるため、現職時から県に要望し招請した者であること及び危機管理上、迅速に対応できるよう村内への移住を求めたことであり、災害派遣職員と同様、家賃免除をしている。

#### 教育長

熊本地震で混乱の中、総務課より復興支援を頂く職員を教職員住宅に入居させて欲しい相談があり、条例第3条に基づき入居に関する決裁を受けた。その後、副村長は村の完全復興に必要な方であり入居出来ないかと相談があり、また学校職員の入居希望もなかった事から、引き続き入居頂いた。条例に即して対応している。

#### 村長

前任の副村長と同じ扱いで家賃を免除した。教育委員会が条例に基づいて手続きを踏んでいるので、条例違反ではないと考えている。

### 公営住宅滞納者への対応と対策は

#### 橋本議員

3カ月以上滞納した場合、村長は当該入居者に明け渡しを請求する事、また連帯保証人に請求する事もできるが、滞納した家賃の説明を。また、令和2年4月1日の改正民法施行に伴い、連帯保証人は限度額の設定が義務化されたのは保証人の保護を図るものである。村営住宅に入居を希望するときは、条例によって連帯保証人を立てることが定められているが、資格とその債務の説明を。

### 臨戸訪問など対策をとる

#### 定住促進課長

公営住宅滞納者への対応と対策は、現年度滞納者には、納期限後20日目までに督促状を発送、納期限を15日以内としている。過年度滞納者は、年に2回、6月と12月に催告状を発送している。また長期滞納者は、分納誓約を滞納者と結び、毎月納付履行するよう手続きや指導を行っている。今後は、臨戸訪問を実施し、滞納額が大きくなるよう早めの対策をとる。

連帯保証人の資格は、本村に住民票がある者、村税等を滞納ない者、入居と同等以上の収入がある者としている。

令和2年4月1日以降の連帯保証人は、極度額使用料の12カ月分を千の位で切り上げた額を納付する債務を負うことになる。



村が管理する住宅の一例



# 今村 竜喜議員



※写真撮影の為マスクを外しています。

## 南阿蘇鉄道これからの負担は

今村議員

2023年夏の全線復旧を目指す南阿蘇鉄道、立野駅～中松駅間の復旧工事を残すのみである。JRと連絡する新立野駅も周辺整備を含め着々と工事が進んでいる。震災前、朝・夕は通勤・通学の足として、昼はトロッコ列車がインバウンド対応の観光列車で賑わっていた。

復旧後の運営は、上下分離方式が採用されることになっている。立野から高森まで17.7km、昭和3年に国鉄高森線として開業当時の6駅、南鉄となって4駅追加し10の駅がある。レール、枕木の軌道とポイント、踏切、橋梁などの構造物があり、その更新や修理など施設管理に相応の負担が見込まれる。恒久的な負担となるため、今後どのくらいの予算が組み込まれるのか。



令和4年3月時点  
「第一白川橋梁」

## 今後10年間は概算で約2500万円/年

産業観光課長

本年度中に鉄道事業の認可を取り、来春から上下分離を開始する予定。駅舎は村の保有施設、立野駅から見晴台駅まで、従来どおり村で維持管理を行う。

### 上下分離方式…令和5年から10年間

区分	見込み額	補助割合			負担額（10年）	単年負担額
		国	県	町・村		
施設整備費 (車両・線路・枕木・通信線)	11億7000万円	1/2	1/3	それぞれ 1/12	9700万円	970万円
維持管理費 (人件費・修繕費)	3億円	—	—	それぞれ 1/2	1億5000万円	1500万円
計	14億7000万円				2億4700万円	約2470万円

## 中学生の通学に南鉄利用は可能か

今村議員

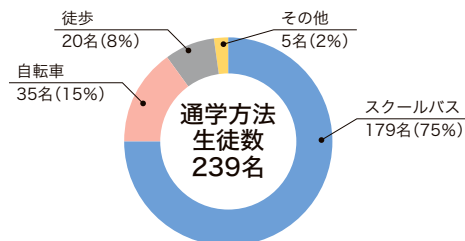
以前、立野地区の生徒は立野～長陽駅間の列車を利用し、中学校へ通学していた。今後は上下分離方式により経費負担が発生。住民の足となる活用法として、運行補助を行っている北周り・南周りのゆーっとバス、自在に動ける乗合いタクシーと並行し、東西中央に延びる南鉄の利用を推進すべきである。

今後、スクールバスの維持管理、更新費用を見直し、中学生として制服や体操服で判別できれば、利用補助を含め協議し、通学に活用できないか。

## 通学方法の選択を協議・検討する

教育委員会事務局長

新たな通学手段としても、鉄道利用も運賃の問題等の課題はある。今後、関係者と協議・検討する。



今村議員

熊本電鉄（株）で採用されている自転車の持ち込みサービスも検討頂きたい。多くの利用形態が生まれるとともに、観光面への活用も無限大である。

村の公共交通機関への負担枠を変えずに、住民の足としての利便性を高め、選択肢を増やす方法を実現できるようにお願いします。



## 辰巳 和美議員

※写真撮影の為マスクを外しています。

### 危機管理体制の状況は

#### 辰巳議員

地震発生後、防災無線がなぜ流れなかったのか。また新型コロナウイルスの感染拡大が続いているが、村民に対し継続的に注意喚起することが重要であると思うが、その対応は。

### 注意喚起を図っていく

#### 総務課長

1月22日、日向灘を震源とした最大震度5強の地震が発生した。村内は震度4、防災計画により震度4の地震が発生した場合、総務課長・防災消防係で警戒体制をとることになっている。村は防災マニュアルに即した体制をとって対処した。防災無線による情報伝達が、深夜のため緊急度等を考慮し放送するか否か判断している。翌日にでも住民に対し被害の有無や、余震等に備えるなどの注意喚起を行うことが住民の安心につながる。今後は防災無線のほか、住民への連絡ツールも活用し、安心安全につながる情報の伝達に努める。

#### 健康推進課長

感染症対策は、国もまん延防止等重点措置が取られ、県も3月21日まで延長。継続的な注意喚起は、国・県の感染防止対策を基に、防災無線・ホームページ等で注意喚起を行うとともに、リスクレベルに応じた公共施設の貸し出し制限や、住民が集う通いの場等も開催の自粛を呼びかけ感染拡大防止に努める。今後も、基本的な感染予防対策の徹底、村民の健康を守るため引き続き注意喚起を図り、3回目のワクチン接種・小児へのワクチン接種を進めていく。



役場 防災無線室

### 生活困窮者の対策は

#### 辰巳議員

本村も新型コロナウイルス感染拡大による長期休業・廃業・失業による生活困窮者（家庭）が増加傾向にある。今後の行政支援(村単独も含めて)対応策は。

### 解決に向けて可能な支援に取り組む

#### 住民福祉課長

現在、住民税非課税世帯及び家計が急変した世帯に臨時特別給付金の支援策を行っている。生活困窮者の自立と尊厳の確保の配慮を目的に「生活困窮者自立支援法」が制定され、本法律に基づき支援を展開している。現在の支援状況は社会福祉協議会を相談窓口とし、休業・失業された方々の生活基盤等を支えるために、資金貸付の案内や家計改善・就労支援のプランを整備。専門の機関・関係団体と連携し、解決に向け可能な支援を今後も取り組んでいく。

### 企業誘致の状況は

#### 辰巳議員

企業誘致は、営業努力が必要と考えるが、状況及び今後の動きと方策は。

### 誘致に向け受入れ体制を整備していく

#### 政策企画課長

TSMCの関連工場の菊陽町進出を受け、半導体関連企業を含む企業誘致に向けた準備を進めている。具体的に、企業の本村進出に関し工場立地の固定資産税の減免制度を既に整備している。今後の方策は、TSMC進出の波及効果がビッグチャンスと捉え、企業誘致・関係者・家族等の受け入れ体制を整備することが必要と考えている。令和4年度は、企業・住宅促進など関係各課を取り込み組織体制の立ち上げ、誘致に向けた情報発信に関する取り組みの拡充。台湾の自治体と交流実現に向け、TSMCや半導体関連企業の情報収集も積極的に行う。本村を企業に選んでもらえるよう機を逸することなく取り組む。



## 復興・地方創生特別委員会 現地視察

(令和4年2月25日 金曜日)

○委員6名 事務局1名



立野駅区造成工事 定住促進課  
復興支援住宅新設  
令和4年8月完成予定



黒川区 小規模住宅改良事業 建設課  
床瀬橋下部工工事  
令和4年6月完成予定



高野台公園災害復旧工事 政策企画課  
公園トイレ改修  
令和5年3月完成予定

## 立野ダムみらい活性対策 特別委員会

(令和4年2月25日 金曜日)

○委員6名 事務局1名

令和4年2月25日（金曜日）阿蘇立野ダムみらい活性対策特別委員会を開催した。建設課より立野ダム仮設備ヤード利活用検討協議会の報告と、仮設備ヤードの整備イメージの紹介があった。

会議終了後、立野ダム建設現場を視察。立野ダム工事事務所工事課長より工事の進捗状況の説明を受けた。



立野ダム仮設備ヤード整備計画案の説明を受ける委員



ダム本体コンクリート打設 進捗率40%

# 人事異動挨拶

## 今村 了介



この度、4月1日付で総務課長を拝命いたしました。今村です。

平成31年4月より3年間、議会事務局長として大変お世話になりました。

あっという間の3年間でしたが、その業務内容は、常に法令等に基づいた根拠をもとに進めていかなければならず悪戦苦闘しながらの毎日でしたが、議員・監査委員の皆様方のご理解とご協力を得ながら何とか大過なく務めさせて頂きました。改めまして厚くお礼申し上げます。

私もあと1年で退職となりますが、残された時間、1日1日を大切に職務に専念していく所存です。また、村民の皆様方とお会いする機会も多くなることと思いますが、今後ともご指導、ご鞭撻を頂きながら日々精進してまいりますので、宜しくお願ひ申し上げまして、ご挨拶とさせて頂きます。

## 桐原 恵



この度、4月の人事異動により今村了介前事務局長の後任として事務局

長を拝命しました桐原です。議会事務局は初めての部署であり、執行機関とは違った環境で戸惑いはありますが、村議会が議決機関であるとともに、執行部に対する監視機能として十分に役割を果たすことが出来るよう円滑で秩序ある議会運営をサポートしてまいります。

また、地方自治における二元代表制のもと、村民の皆様にとって最良の意思決定が行われるよう議会の活性化と改革の推進に向けて議員の皆様とともに取り組み、議会と執行部が両輪となりますよう職務を遂行してまいります。

今後とも村民の皆様方のご指導、ご協力を頂きながら引き続き局員一丸となって職務に邁進してまいりますので、宜しくお願ひ申し上げます。

## 編集後記

春の日差しも心地よい季節となりました。ご自身の異動・転勤、ご家族の卒業・入学など新生活が始まった方も多いかと存じます。何かと気負いせず、楽しいことや笑顔になることを思い浮かべ気分アゲアゲでいきましょう！

私事ですが、娘2人高校の転学をしました。多様な方向性があることをいまだに学ぶ環境に感謝しております。ひとつの道を極めること、またいろいろ選択することができること。可能性大の世の中で、ひと息つきながらもものびのび暮らせることを切に願います。

日々、忙しいとは存じますが、お身体に気をつけてお過ごしください。最後に、ウクライナがいち早く平穏な暮らしに戻ることを祈念します。

辰巳 和美

### 議会広報特別委員会

委員長 今村 輝宏  
副委員長 市原 恵一  
委員 河内 克也  
〃 坂田 正也  
〃 岡 智則  
〃 辰巳 和美

### 発行責任者

議長 桐原 純男

表紙の写真について 「青い空」・「黄色い菜の花」ウクライナ国旗をイメージした表紙を採用いたしました。世界の平和と子ども達の幸せを、ひたすらお祈り致します。（場所：見晴台地区）

ウクライナ国旗